

令和7年度 1 1 月調査

## 「読書に関する調査」まとめ

## 学校教育課通信

令和 8 年 2 月 1 2 日 第 2 1 6 号

編集・発行：県南教育事務所 平山 明裕

## 読書で広がる世界

令和 7 年 1 1 月に実施した「読書に関する調査」にご協力いただきありがとうございました。県南域内の調査結果の一部を以下に示しました。調査からは、県南域内の全小・中学校で、読書推進に向け、様々な取組が行われていることが分かります。今回の結果を各学校での読書活動の推進、充実にぜひご活用ください。

## 令和7年度の読書調査結果及び考察

○ 対象人数 域内全小・中学校全学年（1 学級抽出又は全学級）

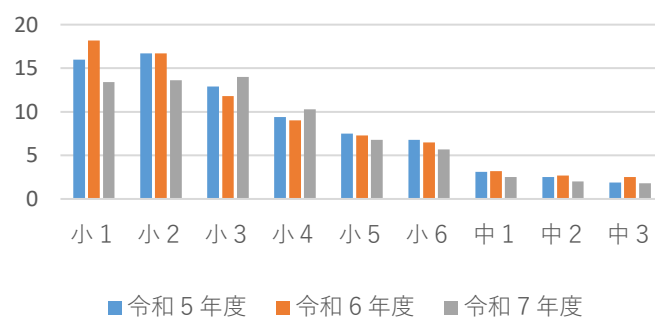
計6898人

### 1 【平均読書冊数について】

（単位：冊）

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
令和 5 年度	16	16.7	12.9	9.4	7.5	6.8	3.1	2.5	1.9
令和 6 年度	18.2	16.7	11.8	9	7.3	6.5	3.2	2.7	2.5
令和 7 年度	13.4	13.6	14	10.3	6.8	5.7	2.5	2	1.8

読書冊数（平均冊数）



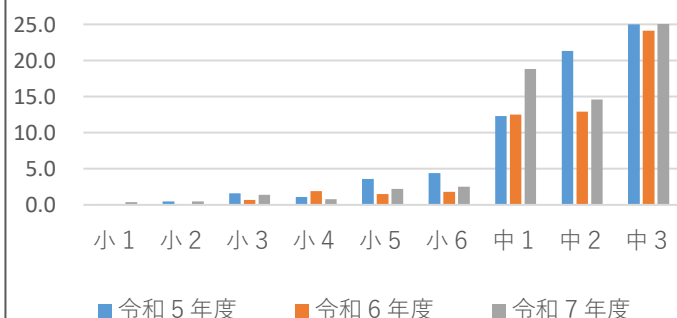
○ 小学 1～4 年生の読書冊数は 1 2.8 冊であり、読書に親しんでいることが分かります。一方、学年が上がるにつれ読書冊数は減少傾向にあります。このことから、発達段階や児童生徒を取り巻く学習・生活環境の変化に即して、児童生徒が読書の価値を実感し、生涯に渡って読書に親しめるような指導を展開していくことが求められます。

### 2 【不読者（1 か月に 1 冊も読まなかった児童生徒）の割合】

（単位：％）

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
令和 5 年度	0.1	0.5	1.6	1.1	3.6	4.4	12.3	21.3	25.0
令和 6 年度	0.1	0.1	0.7	1.9	1.5	1.8	12.5	12.9	24.1
令和 7 年度	0.4	0.5	1.4	0.8	2.2	2.5	18.8	14.6	26.3

不読者の割合



○ 昨年度に比べ、小学校 4 年生で不読者の割合に減少が見られましたが、その他全ての学年において不読者が増加しました。

○ 学習指導要領解説国語編では、「読書は、国語科で育成を目指す資質・能力をより高める重要な活動」であり、「国語科の学習が読書活動に結び付くように」と示されています。福島県教育庁義務教育課「言葉の力」では、国語科の学習が読書につながるポイントを紹介しています。



国語教育だより「言葉の力」第 5 号（読書の充実）



3 【読書したきっかけ】（割合の高い項目）

項 目	小学校	中学校
学校の図書館で見つけた	65.2%	26.5%
公共の図書館で見つけた	10.0%	6.6%
本屋で見つけた	7.4%	30.5%
新聞・雑誌・テレビ・インターネット等	5.2%	11.4%

○ 「読書したきっかけ」として割合の高い項目は、小学校では「学校の図書館で見つけた」で、中学校では「本屋で見つけた」となっています。小学生の読書のきっかけとして学校の図書館が重要な役割を担っていることが分かります。

○ 発達段階に応じて、徐々に自分の興味関心に応じた本を選択するようになります。学校では、各教科の学習などを通して様々な読み物に触れ、読書の幅を広げるきっかけを作り、読書への意欲につなげていくことが重要です。

4 【校内で読書活動推進の取組を行っている学校】  
（小学校34校、中学校17校）※取組の内容（複数回答可）

項 目	小学校	中学校
図書の読み聞かせ・ブックトーク等	33校	5校
読書感想文コンクールの実施	26校	12校
必読書・推薦図書コーナーの設定	30校	12校
目標とする読書量の設定	14校	6校

「推薦図書コーナーの設置」「ブックトーク」「ビブリオバトル」など、小・中学校ともに多様な読書活動に取り組んでいます。また、読み聞かせや学校の図書館の環境整備におけるボランティアの活用や公立図書館資料の学校への貸出も多く学校で行われています。



5 【読書活動推進に関するボランティアの活用状況】  
【公立図書館との連携について】（小学校34校、中学校17校）

ボランティアを活用している	27校	3校
公立図書館と連携している	34校	15校

文部科学省ホームページ「子供の読書キャンペーン #あなたと読みたい1冊」



著名人による子どもたちへのおすすめの本及びメッセージの紹介と、子どもたちに向けた活動に取り組む魅力的な図書館を紹介するキャンペーンです。

子どもたちの興味関心を高め、読書の幅を広げるきっかけとしてぜひご活用ください。

第五次「福島県子ども読書活動推進計画」（令和7年3月）



第五次福島県子ども読書活動推進計画における数値目標の一つとして、令和11年度までに「本を一か月に一冊以上読んだ児童生徒の割合」を100%に設定しております。

読書推進の方向性と具体的な取り組みもありますので、ご覧ください。